TOTO

小型電気温水器

湯ぽっと RE-Sシリーズ
RE06SXN型、RE12SXN型、RE25SXN型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

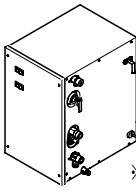
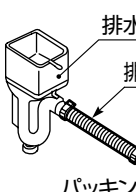
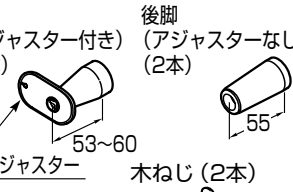
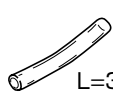
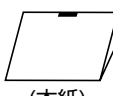
表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
⃠	一般的な禁止	⏚	アースを接続せよ	❗	必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告	
分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない （感電や故障の原因になります。）
禁止	指定する電源以外では使用しない （ヒーターの断線・火災などの原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない （感電・火災の原因になります。）
	屋内用のため、屋外には設置しない （感電や故障の原因になります。）
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない （感電の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない （火災の原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない （故障、感電の原因になります。）
アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける （誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

⚠ 注意	
禁止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない （空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）
	水道水以外は、通水しない （井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	商品に強い力や衝撃を与えない （故障や水漏れの原因になります。）
必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる （フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く 「13.機器の水抜き方法」を参照ください。 （凍結破損し、水漏れのおそれがあります。）
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける （凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。）
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする （空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。）
	必ず湯水が混合できる先止め水栓を取り付ける （高温の湯が出てやけどの原因になります。）
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う （水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）

お ね が い

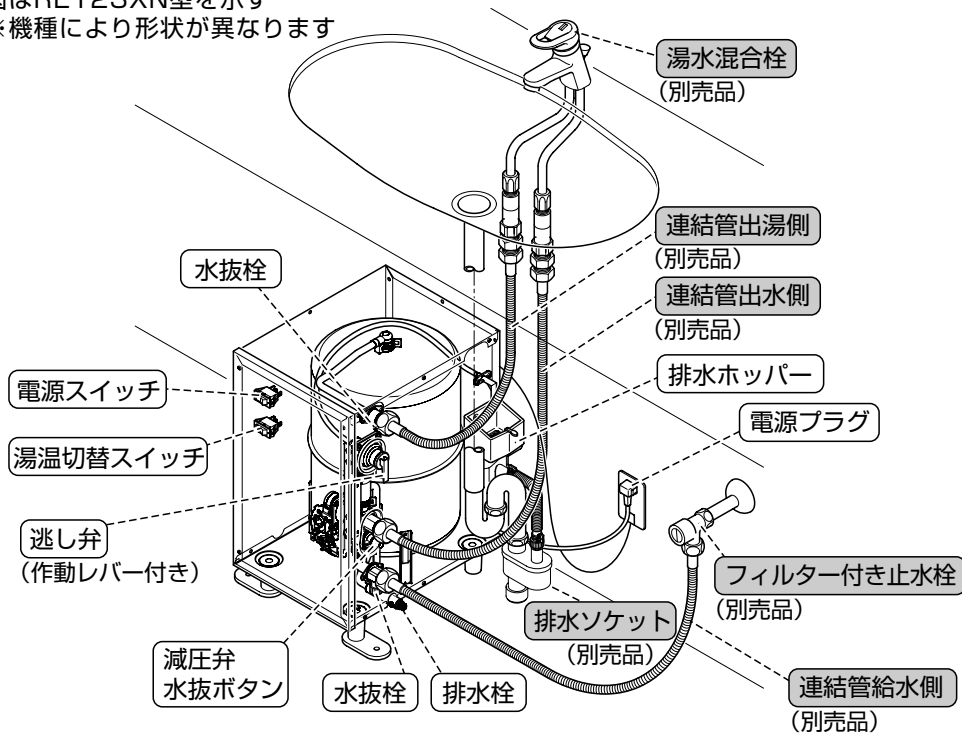
- 給水圧力は0.05～0.75MPa（自動水栓との接続の場合は0.1～0.75MPa）です。この圧力の範囲内でご使用ください。（0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）
- 必ずフィルター付き止水栓（必要別売品）を取り付けてください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
  （鋼管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。）
- 自動水栓と組み合わせて使用する場合は出湯量が少なくなる場合があります。
- シャワー水栓との組み合わせはできません。（十分なシャワー感が得られません。）
- 取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または、工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- コンセントは、接地用端子の付いた接地極付きコンセントを取り付けてください。

2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体	②排水ホッパー	③脚
図はRE12SXN型を示す。 ※機種により形状が異なります。	排水ホッパー 排水ホッパーホース タッピンねじ（2本） パッキン	前脚（アジャスター付き）（2本） 後脚（アジャスターなし）（2本） 53~60 55 アジャスター 木ねじ（2本）
④水抜きチューブ、取扱説明書（保証書付）、施工説明書		
L=300mm　（本紙）　お客様にお渡しください		

3 各部の名称

図はRE12SXN型を示す
※機種により形状が異なります

4 仕様

項目 ＼ 機種	RE06SXN	RE12SXN	RE25SXN
電圧（50/60Hz）	600W	505W	600W
貯湯量	約6L	約12L	約25L
沸き上がり温度	約60℃（約75℃切り替え可）		
沸き上がり時間（給水温約15℃）	約30分 （約50分）	約1時間20分 （約1時間40分）	約2時間20分 （約3時間10分）
商品寸法（幅×奥行き×高さ）	175㎜×273㎜×390㎜	242㎜×319㎜×390㎜	360㎜×395㎜×390㎜
商品質量（ ）内は満水時	約6kg（約12kg）	約8kg（約20kg）	約10kg（約35kg）
給水方式	先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵）		
安全装置	温度過昇防止器（手動復帰式バイメタル）		
使用水圧	0.05〜0.75MPa		
使用可能雰囲気温度	1〜40℃（凍結不可）		

5 寸法図

図はRE12SXN型の例

（単位：mm）

	A（幅）	B（奥行き）	C	D	E
RE06SXN型	175	273	227	184	36
RE12SXN型	242	319	269	226	40
RE25SXN型	360	395	345	302	61

6 別売品一覧

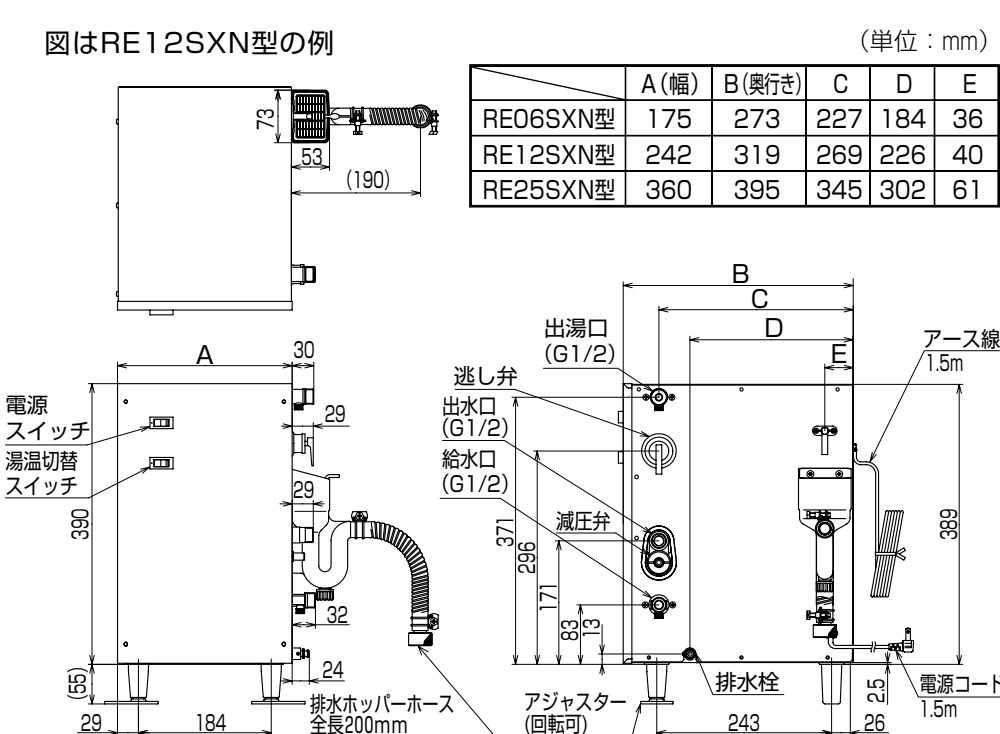
① 排水ソケット	
一般住宅用	集合住宅用
品番 TH500DA	品番 TH500D1

② 2穴混合栓時の連結管

連結管（A寸法）		A寸法（mm）	個数	品番
	出湯側	450	1	TN65−8X
	出水側	750	1	
	給水側	600	1	

③ 1穴混合栓時の連結管

連結管（A寸法）		A寸法（mm）	個数	品番
	出湯側	400	1	TN65−9RX
	出水側	600	2	
	給水側			
ニップル	G 1 / 2	−	2	

④ 止水栓	
壁給水用	床給水用
品番 TL 347C（フィルター付き）	品番 TL 347C1（フィルター付き）

7 設置スペースの確認

施工およびメンテナンスのためのスペースを確保する。

（単位：mm）

A寸法：10 以上
脚のアジャスター調整に必要な寸法。
B寸法：100 以上
脚を固定するためのねじ止めができる寸法。
C寸法：100 〜250 （標準 150 ）
止水栓から本体へ別売の連結管を接続できる寸法。

	D寸法	E寸法	F寸法	G寸法
RE 06SXN	175	375以上	445	280 以上
RE 12SXN	242	442以上	445	320 以上
RE 25SXN	360	560以上	445	400 以上

8 標準施工図

①一般洗面器の場合

②洗面化粧台の場合

9 取付手順

※洗面化粧台へ取り付ける場合は、7ページから参照してください。

⚠警告

- 屋内用のため屋外には設置しない
（故障・感電の原因になります。）
- 水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない
（故障・感電の原因になります。）

注意

- **必ず同梱の脚を電気温水器底板の取付穴に差し込んでください。**
（排水ホッパーホースが逆勾配になり、排水ホッパーから膨張水がオーバーフローし、家屋に被害が及ぶおそれがあります。）
- **排水ホッパーホースは必ず接続口より下になるように配管してください。**
（排水ホッパーから膨張水がオーバーフローし、家屋に被害が及ぶおそれがあります。）

1.同梱部品の取り付け

脚の取り付け

温水器底板の取付穴4カ所に脚を強く押し込む。

注 前脚（アジャスター付き）と後脚の取付位置を間違えないように取り付けてください。

注 温水器を倒す場合は、傷が付かないよう養生シートなどの上に置いてください。

排水ホッパーの取り付け

排水ホッパーのフックを電気温水器に差し込んでねじで固定する。

注 膨張水排水口に排水ホッパー排水穴のセンターを必ず合わせて取り付けてください。

9 取付手順（つづき）

2.排水ソケットの接続

《一般住宅の場合》 別売品：TH500DA

排水管に排水ソケットに付属の防臭栓をはめて排水ソケットを確実に差し込む。

《集合住宅（マンションなど）の場合》 別売品：TH500D1

排水管に塩ビ継手を取り付け配管用アダプターを固定したあと、排水ソケットを確実に差し込む。
※別売の排水ソケット（集合住宅用）を必ず使用してください。

3.排水トラップの接続

①Uトラップを排水金具にセットしてSパイプの長さを決める。

②Sパイプと排水ソケットを取り付ける。

※排水ホッパーホースが短く排水ソケットに接続できない場合は、排水ソケットを回して取り付けができる位置で接続してください。

4.連結管の取り付け

注 意	電気温水器と止水栓の接続はフレキ管を使用してください。 (鋼管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。)

⚠注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため、止水栓を開けバケツ2杯(約20L）程度の水を捨てる
（フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）

《2穴の混合栓の場合》

4ページの「 8. 標準施工図 」に従って連結管および排水ホッパーホースを取り付ける。
※連結管出水側は混合栓の水側へ接続してください。
※連結管出湯側は混合栓の湯側へ接続してください。

《1穴の混合栓の場合》

1穴混合栓に電気温水器を取り付ける場合、次の手順で行う。
※水栓が<新設>と<既設>では、取付方法が異なりますので、ご注意ください。

<新設の場合>

①1穴混合栓の取り付け
混合栓全体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを 図1 の寸法を目安に曲げて広げる。
※できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。

②パイプ長さの調整
パイプの差し込み代を約30mm確保して、給水・給湯パイプを切断する。

③逆止弁の取り付け
給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁を差し込み袋ナットを締める。

④電気温水器との接続
電気温水器との接続は逆止弁にニップルを取り付けて連結管で連結する。

⑤4ページの「8. 標準施工図 」に従って連結管および排水ホッパーホースを取り付ける。
アジャスターの木ねじを取り付けて電気温水器を固定する。

<既設の場合>

※既設の場合は、すでに給水・給湯側の止水栓が取り付けられておりますので、給湯側止水栓は使用せず、給水側止水栓はそのまま給水用として使用します。

■すでに1穴混合栓が取り付けられている場合
①給湯側・給水側の止水栓を閉める。
②逆止弁の袋ナットを外す。
③逆止弁をゆるめて止水栓から外す。
④ 図2 の絵を目安に給水・給湯パイプを曲げて移動させる。
⑤給水側の止水栓を180°回し、あとで電気温水器の給水口に連結管で連結する。
⑥給湯側の止水栓は取り外し予備給水管プラグを取り付けるか、または取り外さずキャップを取り付ける。

①逆止弁にニップルを取り付ける。
②逆止弁を再度パイプに差し込み袋ナットを締める。
③4ページの「 8. 標準施工図 」に従って連結管および排水ホッパーホースを取り付ける。
アジャスターの木ねじを取り付けて電気温水器を固定する。

5.電気温水器の固定

①温水器取り付け後、ガタつきがないように、また、温水器が水平になるように前脚を回転させて高さを調節する。
②アジャスターに木ねじを取り付けて温水器を固定する。

10 洗面化粧台への取り付け

洗面化粧台に水栓金具、止水栓を取り付ける。

1.電気温水器の取り付け

電気温水器を洗面化粧台に取り付ける
※付属の脚は不要です。

注 意	RE12SXN、RE25SXNの場合は満水質量が約20kg以上になるため必ず底板の補強を行ってください。（底板の破損の原因となります。）

2.排水ホッパーの取り付け

※4ページの「 排水ホッパーの取り付け」を参照してください。

3. 排水ソケットの接続

①洗面化粧台の底板に排水ソケットが入るよう、取付穴の加工を行う。
②下記のうちのどちらかの方法で排水ソケットを排水管に接続する。

《一般住宅の場合 》

《取付穴寸法》

別売品の排水ふた(RHE440)を使用すると、取付穴の加工跡を隠すことができます。

《集合住宅（マンションなど）の場合 》

注 意	排水ホッパーホースは必ず接続口より下方になるようにしてください。（排水ホッパーから膨張水があふれ家屋に被害が及ぶおそれがあります。）

4.排水トラップの接続

※5ページの「3. 排水トラップの接続」を参照してください。

5.連結管の取り付け

4ページの「8. 標準施工図」を参考に連結管および排水ホッパーホースを取り付ける。
※連結管出水側は混合栓の水側へ接続してください。
※連結管出湯側は混合栓の湯側へ接続してください。

11 電気工事

⚠ 警告

電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、必ず漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

指定する電源以外では使用しない
（ヒーターの断線、火災などの原因になります。）

1.コンセントの設置

- ●電気温水器の消費電力は、RE06SXN・RE25SXNが600W、RE12SXNが505Wです。容量が足りない場合は、専用のコンセントを設ける。
- ●電気温水器の電源コードの長さは、1.5mです。電源コードの届く範囲内に既設のコンセントがなければ、専用のコンセントを設ける。

2.アース工事

●電気温水器のアース線をアース端子に必ず接続してください。

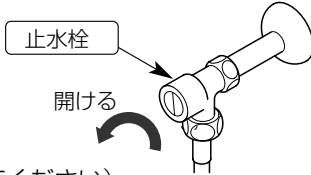
12 試運転

⚠ 注意

タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない
（空焚きとなり、故障や事故の原因になります。）

1.電気温水器への給水

①止水栓を開ける。
※給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
（湯からにおいがするおそれがあります）
②混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
（シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にしてください）
③混合栓から水が出ることを確認し、混合栓を閉める。
（タンクが満水になると混合栓から水が出ます）
④配管接続部および排水トラップからの水漏れがないことを確認する。

止水栓
開ける

2.電気温水器への通電

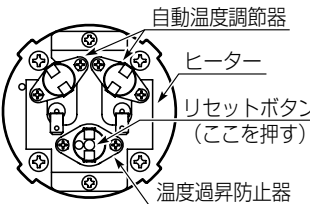
①電源プラグをコンセントに差し込む。
②電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
③電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。
（電源スイッチを「切」にするとランプは、消灯します）

空焚き禁止
入
電源スイッチ

止水栓のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。（掃除の方法は、取扱説明書を参照してください）

※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。（交換の目安：5年）

空焚きリセット方法

万一、空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。
①電源スイッチを「切」にする
②タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる
③電源プラグを引き抜く
④前面のパネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す

3.沸き上がり温度の変更

約60℃設定の場合

初期設定は60℃となっています。湯温切替スイッチに貼り付けてあるラベルははがさずに、そのままお使いください。

約75℃設定の場合

湯温切替スイッチに貼り付けてある湯温切替ラベルをはがして湯温切替スイッチを75℃に切り替えてください。

13 機器の水抜き方法

⚠ 注意

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
（凍結破損し、水漏れするおそれがあります。）

①電源スイッチを「切」にし、電源コードを抜く。

②混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯を完全に出し切る。
注 タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。

③止水栓を閉める。

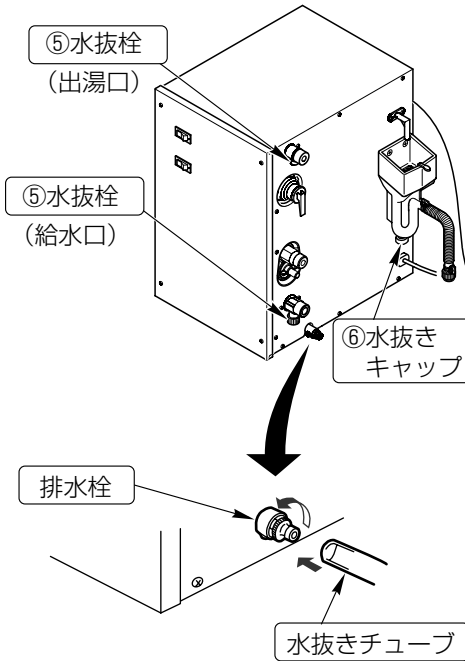
④同梱の水抜きチューブを機器本体の排水栓に接続し、排水栓を開け、タンク内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

〔水抜き時間〕

6L	12L	25L
約6分	約12分	約25分

⑤出湯口の水抜栓および給水口の水抜栓を開け、連結管内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑥排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
注 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

⑦水抜きが完了したら機器本体の水抜栓排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉める。

配管の凍結予防

電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。